

おおいずみ

No. **71**

2016.1.25



議会だより

発行／大泉町議会

編集／議会広報

編集委員会



主な
内容

12月定例会開催

P 2 ～

議案賛否一覧表

P 4

町政を問う **一 般 質 問**

P 5 ～

予算要望

P 7

議会トピックス・編集後記

P 8

会を開催

平成27年第5回定例会を12月8日(火)～10日(木)までの3日間の日程で開催しました。諮問1件、平成27年度の一般会計並びに4つの特別会計の補正予算を含む議案14件について慎重審議し、原案のとおり可決しました。また、一般質問を4人が行い、さらに群馬東部水道企業団議会議員の選挙などを行いました。

詳しくは、会議録(町図書館)または、町のホームページ内の議会インターネット中継のページをご覧ください。

平成27年度 一般会計・特別会計補正予算を審議

平成27年度の一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計の補正予算が議案として提出され、審議しました。

各会計の主な補正内容は、次のとおりです。

□一般会計

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7080万円を追加して、歳入歳出の予算総額は150億9140万円

歳入の主な内容は、国庫支出金5513万円、県支出金2675万円、繰入金1924万円減

歳出の主な内容は、社会福祉費5723万円、教育費2923万円、商工費1374万円など

□国民健康保険事業特別会計

歳入歳出それぞれ647万円を減額して、予算総額は46億6561万円

歳入の主な内容は、療養給付費交付金5428万円

減、基金繰入金6583万円など

歳出の主な内容は、介護納付金3687万円減、償還金及び還付加算金3080万円など

□介護保険事業特別会計

歳入歳出それぞれ102万円減額し、歳入歳出の予算総額は23億3220万円

□下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ114万円を追加し、歳入歳出の予算総額は8億3764万円

□水道事業会計

事業費を916万円追加し、事業費予算総額は6億9766万円

国庫補助金を454万円減額し、資本的収入の予算総額は1億2686万円

資本的支出は建築改良費31万円を追加し、予算総額は4億2431万円

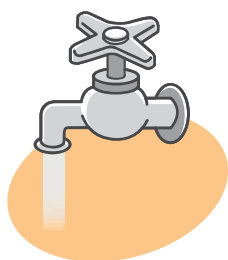
以上、慎重審議の結果、原案のとおり全員一致で可決しました。

大泉町行政機構変更を審議

平成28年4月1日から行政組織が変更されます。機構改革は、水道事業の広域化により、平成28年4月1日から東毛地域の3市5町で構成する「群馬東部水道企業団」に水道事業が統合されることなどに伴い、一部組織体制の見直しを行います。

主な変更内容は、現在ある3部(住民経済部、都市建設部、生活環境部)を2部(住民生活部(名称変更)、都市建設部)に改め、生活環境部の業務は、2部に振り分けられます。

慎重審議の結果、全員一致で可決しました。



12月定例

大泉町の水道事業は、平成28年4月1日より太田市、館林市、みどり市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町及び邑楽町の3市5町で事業を統合し、「群馬東部水道企業団」へ移行します。

水道事業の広域化に向けて

3市5町の水道事業を統合し、水道事業に関する事務を共同処理するため、大泉町議会では6月定例会に企業団設立に関する議案が審議され、全員一致で可決に至りました。これにより、平成27年10月1日群馬県知事の許可を得て、3市5町を構成団体とする「群馬東部水道企業団」が設立となりました。

企業団設立に伴い、大泉町議会12月定例会で、大泉町の水道事業を廃止すること等を内容とする議案が審議され、全員一致で可決しました。平成28年4月1日からの企業団による事業開始に向け、必要な手続きが進められています。

◎企業団設立の目的

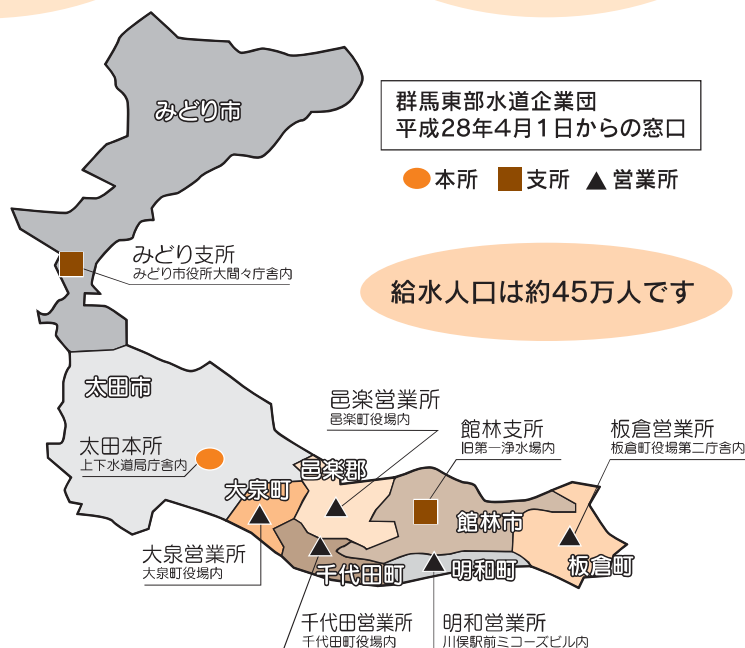
- ・人口減少に伴う料金収入の減少
- ・施設の老朽化
- ・災害時の対応強化
- ・技術力の低下

など、これらの水道事業を取り巻く課題を“広域化”により解決するためです。

◎“広域化”によるメリット

- ・施設の統廃合を行い、無駄な投資を抑制
- ・業務の共同化で効率的な運営
- ・広域化に対する国の補助制度の活用

などです。



12月定例会を開催

平成27年第5回大泉町議会定例会 会議結果及び議案等関係賛否一覧表

		議席番号														採決結果
		1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13	14		
議案名		議員名														
		河内初光	金谷勝美	都丸裕史	川島定夫	須田敏彦	淺野正己	宮永万里子	田邊信雄	津久井明人	渡邊明	青木満彦	森昌彦	金井茂夫		
諮問	第2号	人権擁護委員候補者の推薦について														全員
議案	第60号	大泉町水道事業の設置等に関する条例を廃止する条例について														全員
	第61号	大泉町水道事業の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例について														全員
	第62号	大泉町事務分掌条例の一部を改正する条例について														全員
	第63号	大泉町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例について														全員
	第64号	大泉町町税条例の一部を改正する条例について														全員
	第65号	群馬東部水道企業団の規約変更に関する協議について														全員
	第66号	西邑楽土地開発公社定款の変更について														全員
	第67号	指定管理者の指定について（大泉町高齢者ふれあいセンター）														全員
	第68号	大泉町道路線の認定について														全員
	第69号	平成27年度大泉町一般会計補正予算（第4号）について														全員
	第70号	平成27年度大泉町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）について														全員
	第71号	平成27年度大泉町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）について														全員
	第72号	平成27年度大泉町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について														全員
	第73号	平成27年度大泉町水道事業会計補正予算（第1号）について														全員

※「○」＝賛成（起立）、「●」＝反対、「―」＝欠席または不在

※議席14番金井茂夫議長は、採決に加わっていないため、「/」で表示

※採決結果の「全員」および「多数」は、可決成立（同意）を表す。「少数」は、否決不成立（不同意）を表す。

町政を問う

Q 外国籍住民への多言語化対応は

A 多言語化について研究しております



金谷 勝美 議員

多文化共生のまちづくりを推進する上で、自治体の施策やさまざまな情報を伝達するツールとして、町ホームページがございいますが、外国籍住民への対応として多言語表記も必要不可欠であると考えられます。本町のホームページの改善や情報伝達ツールの多言語化を含め、多文化共生のまちづくりの展望についておたずねします。

町長

本町には、約53カ国の外国人が住んでおります。16%の方々がお住まいになって多言語の問題については、私も重視しております。

Q ソーシャルスキルトレーニングの導入を

A どの段階で導入するか調査研究します



都丸 裕史 議員

本町ではいじめ対策の教育や未然防止の取り組みとして道徳教育を中心とした心の教育の充実をしていますが、その一環でソーシャルスキルトレーニングの導入を提案します。

このトレーニングは相手の表情から隠された意図や感情を読み取る方法などを説明し、役割演技を通じてグループ間で練習をおこなう取り組みです。自己肯定感も育む取り組みにもつながるこのトレーニングの導入を提案しますが、見解をうかがいます。

教育部長

道徳の教科化に伴い、い



楽しい学校生活を！

じめ問題対応の充実が盛りこまれております。この充実のひとつとして、ソーシャルスキルトレーニングは有効な手段と考えております。教育過程の中でどのようなソーシャルスキルトレーニングを取り入れるのが、いじめ問題に対応する実践力を育成する上で有効であるか今後、調査研究してまいります。



多言語が望まれる情報伝達ツール

過日は、上位5カ国の多言語を訳した問診表を作成しました。これは、病院や歯科医師、薬剤師さんに、もし言葉が通じなくて、どこが悪いかということが伝達できない場合、やはり体の部分というのは非常に大切な部分なので、町でつくりまして配らせて頂きました。大泉町のホームページのトップ画面から多文化共生コミュニティセンターへのページに迅速に接続できるように工夫するとともに多言語化についても研究しているところであります。

町政を問う

Q 生命と財産を守る安全安心の町づくりを

A 提案をしっかりと捉えて検討します



渡邊 明 議員

① 11月に連続して乗用車と横断中の高齢者との死亡事故が発生しました。交通事故防止緊急対策をお願いします

② 利根川等の河川の増水時に、避難勧告をだす氾濫危険水位の基準は何メートルですか

③ 庁舎内の「非常用電源装置」の能力アップを検討していただきたい

④ 若手職員を育成し、「気象予報士」の国家資格を取得させて下さい

町長

① 「のぼり旗」は非常に有効的です。設置する方向で早急に検討します



ルールを守り、事故防止を

② 避難勧告指示については、4・8メートルと国町では3・9メートルです

③ 二重投資にならないよう庁舎建替時に検討します

④ 「気象予報士」がいることは非常に有効ですが、気象台と連絡しあう体制が構築されており、今のところは間にあるのではと思っております

Q 利根川堤防の診断結果は

A 危険な箇所を早期発見に努めます



青木 満 議員

近年河川の氾濫が目立ち、堤防の決壊が各地域に広がっています。

利根川左岸堤防の診断について、本町は現況をどの様に分析し、その対応をうかがいます。

都市建設部長

利根川上流河川事務所が公表している重要水防箇所一覧では、大泉町の利根川堤防は水防上最も重要な区間A及び水防上重要な区間Bの2段階評価のうち、Bと評価されています。

対応は平成25年度に堤防のり面の芝生張替えの補修と、堤防上道路からの雨水の浸透を防ぐための舗装工



のり面に生い茂る桑木のむれ

事を利根川上流河川事務所により施工しました。

今後、重要水防箇所の確認や関係機関で重要水防箇所を確認する合同巡視により、堤防の危険な箇所の早期発見に努め、さらに国への河川改修の要望活動を行っていきます。



平成 27 年 11 月 13 日 村山町長に予算要望書を提出

平成 28 年度 各常任委員会 予算要望

総務都市常任委員会

- 1、行財政の改革を積極的に推進するとともに、収納率向上と財政の健全化に努めること
- 2、安全・安心なまちづくりを推進すること
- 3、協働のまちづくりの充実を図ること
- 4、行政サービスの充実と公共交通の利便性向上に努めること
- 5、職員の健康管理と人材育成を推進すること
- 6、住民窓口のサービス改善向上を図ること
- 7、産業振興と観光振興に向け目標を立て積極的な取り組みを図ること
- 8、生活圏道路の整備及び側溝の新設改修を図ること
- 9、住宅環境の整備を強力に推進すること
- 10、公園施設の充実及び管理運営の徹底、並びに都市計画事業の促進を図ること

民生文教常任委員会

- 1、健康づくりの推進と医療体制の充実を図ること
- 2、子育て支援及び少子化対策の推進・充実を図ること
- 3、高齢者支援対策の推進・充実を図ること
- 4、障がい者自立支援対策の推進・充実を図ること
- 5、学校教育及び教育環境の充実を図ること
- 6、地域の教育力充実と地域文化・スポーツの振興に努めること
- 7、環境保全と環境衛生の整備を図ること
- 8、公共下水道の整備を積極的に推進すること

議会トピックス

10/21-22

町村議会広報研修会

手にとってもらえる議会広報を目指して



議会広報編集委員会は、平成27年10月20～21日に東京都で開催された「町村議会広報研修会」に参加しました。講師は、広報コンサルタントで柏崎市広報専門官の小田順子氏、一般財団法人地域活性化センター広報室長兼月刊「地域づくり」副編集長の畠田千鶴氏、議会広報サポーターの芳野政明氏でした。

研修は、議会広報紙の文章の書き方や思わず手にとり読みたくなる議会だよりを目指した広報づくりについてを内容としていました。今回の研修をもとに、住民ニーズを的確にとらえ、愛読し続けてもらえる議会だよりになるよう編集委員一丸となり努力していきます。

お詫びと訂正

議会だより 70号(平成27年10月25日発行)に掲載されました「平成26年度決算調査」のコーナーに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

訂正箇所 (11 ページ)

「道路の管理について」の植栽管理に関する回答部分

【誤】・選定 【正】・剪定

お知らせ

次回定例会

予定

3月2日(水)
午前10時～

お問い合わせ ☎ 63 - 3111 内線 412

みなさん議会傍聴に来てください

傍聴お待ち
していま～す。



手続きは簡単です。

4階で住所と名前を書くだけです。

議会だより・会議録がホームページで見られます。

<http://www.town.oizumi.gunma.jp/>

編集後記

新年のお慶びを申し上げます。昨年、皆様方のお力添えにより、大泉町も行財政とも総じて順調に推移し、恵まれた一年であったと思えます。議会の方もお陰様で、議員全員が力を合わせ、すこぶる活発に活動することが出来ました。町民の皆様には厚く御礼申し上げます。

本年もまた、町民の皆様と共に、より良い大泉町にするために精一杯やらせていただきますので、何卒よろしくお願いいたします。「人間、陽気になる秘訣は、あすはきつと良くなると思いきんで暮らすことです」と言われますが、この意気でありたいと思えます。

河内初光

■議会だより文責
編集委員 金井茂夫
委員長 青木満
副委員長 川島定夫

委員 宮永万里子
委員 河内初光
委員 金谷勝美
委員 都丸裕史
委員 須田敏彦



この広報紙は、自然保護のため再生紙とベジタブルインキを使用し作成しています。